

令和7年1月27日

関係各位

岩手大学農学部附属動物医学食品安全教育研究センター  
センター長 佐藤 至  
(公印省略)

日本中央競馬会 (JRA) 畜産振興事業 シンポジウム  
東北から発信する牛伝染性リンパ腫清浄化対策の最前線  
～あと一步、地域で取り組む清浄化対策～  
の開催について

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は、岩手大学農学部附属動物医学食品安全教育研究センターの活動に対し格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当センターではJRA畜産振興事業の補助金により「黒毛和種における牛白血病清浄化モデル開発事業 (平成28年～30年度)」、「感染子牛育成センターを利用した地域で持続可能な牛白血病清浄化モデル開発事業 (令和元年～3年度)」、および「地域BLV検査センターと感染子牛センターを組み合わせた総合型牛伝染性リンパ腫清浄化モデル開発事業 (令和4年～6年度)」の9年間にわたり取り組んでまいりました。本事業では、東北6県のNOSAI組織によって設立されたNOSAI東北家畜臨床研修センター、各県のNOSAIおよび家畜保健衛生所、ならびに東北各地の繁殖和牛農場にご協力をいただいで牛伝染性リンパ腫清浄化に向けた取り組みを实践し、その効果を検証しました。

今年は事業最終年度にあたることから、本事業の中で得られた成果を広く畜産関係者、家畜衛生・公衆衛生関係者、食肉関係者等にご報告するために、来る2月28日(金)に、別紙のとおりシンポジウムを開催する運びとなりました。

つきましては、関係各部署の皆様へお知らせいただくとともに、是非、貴下職員を本シンポジウムに派遣していただきたく、ご案内申し上げます。

敬具

日本中央競馬会（JRA）畜産振興事業 シンポジウム  
東北から発信する牛伝染性リンパ腫清浄化対策の最前線  
～あと一步、地域で取り組む清浄化対策～

日 時：令和7年2月28日（金）13時～17時30分（受付12時開始）  
場 所：仙台国際センター 会議棟 3階白樫一体（〒980-0856 仙台市青葉区青葉山無番地）  
参 加 費：無料

情報交換会：シンポジウム終了後17時45分より、シンポジウム会場近くの会議室で行います。

参加される方は事前登録をお願いします。（会費：5000円程度）

申込方法：以下の申込フォームまたは別紙申込書に記載の上、メールにてお申し込みください。

申込フォーム：<https://forms.gle/hRBRYx8bhdD735BX7>

申込書：FAMS ホームページからダウンロードをお願いします。

<http://news7a1.atm.iwate-u.ac.jp/~fams/>



申込締切：令和7年2月14日（金）

そ の 他：本シンポジウムは、日本中央競馬会（JRA）畜産振興事業の助成により開催いたします。

【会場のご案内】

仙台国際センター 会議棟 3階 白樫一体（〒980-0856 仙台市青葉区青葉山無番地）

交通アクセス <https://www.aobayama.jp/access/>



【プログラム】

1. 「JRA 畜産振興事業（地域BLV検査センターと感染子牛センターを組み合わせた総合型牛伝染性リンパ腫清浄化モデル開発事業）の概要」

13:00-13:15 岩手大学 FAMS 村上 賢二 氏

2. 基調講演

「我が国が目指す牛伝染性リンパ腫の清浄化対策」 (仮)

13:15-14:15 農林水産省 消費・安全局 動物衛生課  
岩手大学 FAMS 客員教授 岡村 行岳 氏

—休憩 (10分)—

3. JRA 畜産振興事業「地域BLV検査センターと感染子牛センターを組み合わせた総合型牛伝染性リンパ腫清浄化モデル開発事業」の成果について

(1) 「地域BLV検査センターの設置と東北地区BLV浸潤状況調査」 (仮) (1系)

14:25-15:25 宮城県農業共済組合 新井 偉典 氏  
松田 敬一 氏  
農研機構・動物衛生研究部門  
近藤 園子 氏

(2) 「感染子牛センターと高度感染牛・感染子牛摘発・分離方式によるEBL清浄化対策の事例」 (仮)  
(2系)

15:25-16:25 岩手大学 FAMS 一條 俊浩 氏  
岩手県農業共済組合 加藤 惇郎 氏  
株式会社あんばい牧場 安倍 水敏 氏

(3) 「牛MHC遺伝子型別に関する新しい手法の開発」 (3系) (仮)

16:25-16:55 帝京科学大学 彦野 弘一 氏  
岩手大学 FAMS 村上 賢二 氏

4. パネルディスカッション 17:00-17:25

「地域から発信する経済損失を最小限にした牛伝染性リンパ腫清浄化対策の将来展望」 (仮)

5. 閉会 17:25-17:30

主催：岩手大学農学部附属動物医学食品安全教育研究センター (FAMS)

共催：NOSAI 東北家畜臨床研修センター、岩手大学農学部附属産業動物臨床・疾病制御教育研究センター (FCD)

—お問合せ先—

動物医学食品安全教育研究センター (FAMS) 事務局 (岩手大学農学部地域連携推進室内)

〒020-8550 岩手県盛岡市上田三丁目 18-8

TEL : 019-621-6108 MAIL : fams@iwate-u.ac.jp

# 東北から発信する 牛伝染性リンパ腫清浄化対策の最前線 ～あと一步、地域で取り組む清浄化対策～

日時

2月28日 (金)  
13:00-17:30  
(受付12:00開始)

会場

仙台国際センター  
会議棟  
3階 白樫一体

参加費

無料

## —プログラム—

「JRA畜産振興事業 (地域BLV検査センターと感染子牛センターを組み合わせた総合型牛伝染性リンパ腫清浄化モデル開発事業) の概要」 岩手大学FAMS 村上 賢二 氏

基調講演「我が国が目指す牛伝染性リンパ腫の清浄化対策」 (仮)

農林水産省 消費・安全局 動物衛生課

岩手大学FAMS客員教授 岡村 行岳 氏

JRA畜産振興事業「地域BLV検査センターと感染子牛センターを組み合わせた総合型牛伝染性リンパ腫清浄化モデル開発事業」の成果について

「地域BLV検査センターの設置と東北地区BLV浸潤状況調査」 (仮)

宮城県農業共済組合 新井 偉典 氏

松田 敬一 氏

農研機構・動物衛生研究部門 近藤 園子 氏

「感染子牛センターと高度感染牛・感染子牛摘発・分離方式によるEBL清浄化対策の事例」 (仮)

岩手大学FAMS 一條 俊浩 氏

岩手県農業共済組合 加藤 惇郎 氏

株式会社あんばい牧場 安倍 水敏 氏

「牛MHC遺伝子型別に関する新しい手法の開発」 (仮) 帝京科学大学 彦野 弘一 氏

岩手大学FAMS 村上 賢二 氏

## パネルディスカッション

「地域から発信する経済損失を最小限にした牛伝染性リンパ腫清浄化対策の将来展望」 (仮)

情報交換会： シンポジウム終了後17時45分より、シンポジウム会場近くの会議室で行います。  
参加される方は事前登録をお願いいたします。(会費：5000円程度)

お問い合わせ

岩手大学農学部附属  
動物医学食品安全教育研究  
センター事務局  
TEL 019-621-6108  
MAIL fams@iwate-u.ac.jp

お申込み

申込フォームまたは  
メールにてお申し込み  
ください

<https://forms.gle/hRB-Ryx8bhnd735BX7>

